



## ○ 沿革の概要

- 平成 14. 4 中妻小学校、八雲小学校両校統合により、釜石市立双葉小学校として開校。  
 16. 1 旧中妻小学校跡地（釜石市新町1番58号）に新校舎が完成し、移転完了。  
 16. 2 校舎落成式挙行。  
 18. 9 岩手県PTA研究大会釜石大会開催。「双葉っ子共育」の実践発表を行う。  
 19. 6 歯・口の健康度調査研究事業の推進（文部科学省委嘱）により、岩手県歯科医師会より表彰を受ける。  
 22. 10 平成22年度釜石市教育委員会指定学校公開研究会（外国語活動）開催。  
 23. 3 東日本大震災発生。多目的ホールを避難所とする。（最大250名避難）  
 3月29日、避難所である多目的ホールで卒業式挙行。  
 23. 4 平成22年度の修了式及び平成23年度の始業式を実施。4月から2月末まで、校舎が全壊した鶴住居小学校児童を受け入れ、教室を提供する。  
 24. 6 創立10周年を記念して、東京多摩交響楽団によるコンサートを開催。  
 27. 10 平成26・27年度釜石市教育委員会指定学校公開研究会（国語・算数）開催。  
 27. 10 多目的ホール・メモリアルホール天井の耐震補修工事実施。  
 28. 8 校舎外壁及び教室床の補修工事実施。  
 29. 4 「60運動推進プロジェクト」実践校の指定（県教委）。  
 令和 元. 12 釜石市交通安全対策協議会より交通安全模範校として表彰を受ける。  
 3. 2 岩手県総合教育センターで釜石市教育委員会指定研究（社会・生活科）発表  
 3. 5 防災倉庫物品を校舎2階集会室へ移動  
 3. 7 外遊具を交換（鉄棒 雲底 ブランコ座面）上り棒プール時計、掲揚塔は撤去  
 4. 2 音楽室に新しいグランドピアノを設置

### ○校名の由来

旧八雲小、旧中妻小の両校を双葉にイメージし、「双葉から本葉になり、地域に根を張り未来に向かってまっすぐ伸びる大きな樹は、個性豊かな実り（子どもたち）を育む」という願いが込められた一般公募による校名である。「新しい学校が、地域や子どもたちの融和の象徴となるように、二つの学校の歴史と伝統を引き継ぎ、地域コミュニティの中核として、未来に向けて発展していくように」という願いのもと決定されたものである。



【旧八雲小学校 校舎】



【旧中妻小学校 校舎】

### ○校章

「『双』の頭文字をモチーフに、その中に小学校の『小』を配し、緑豊かな自然に恵まれた環境にある釜石地域の学舎で、明るく元気に次世代を生きる子どもたちが、芸術・スポーツ・文化と生き生き共生し、未来に向かって羽ばたき、若葉のように逞しく成長する姿を表している。」の意図でデザインされた井口やすひさ氏（東京都）の作品であり、一般公募によるものである。



### ○校歌

前岩手大学教育学部長 望月善次氏（ペンネーム三木与志夫）の作詞、岩手大学教育学部名誉教授 林芳輝氏の作曲によるものである。下記は、英訳詞である。

Kamaishi Futaba Elementary School "School Song" 訳詞：星野勝利

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1 Sowing seeds in the heart<br>Sowing seeds every one<br>Every seed sprouting<br>Every one growing in the school<br>Kamaishi Futaba Elementary School | 2 Young leaves to flowers<br>Every one to one's own flowers<br>Every one wreathing flowers<br>Wreathing the school with garlands<br>Kamaishi Futaba Elementary School | 3 Six years of growing spirit<br>Six years of growing spirit bo dy<br>With growing spirit and body<br>Every thriving in the school<br>Kamaishi Futaba Elementary School |
|---|---|---|

## 双葉小まなびフェスト2022

まなびフェストとは、学校と家庭が目標や課題を共有して連携・協働しながら取り組むための具体的な目標です。まなびフェストは学校で取り組む数値化できる項目の一部であり、教育活動の全てではありません。

